

平成17年度大商女性会通常総会

城東印刷株 代表取締役社長 萩田緋佐子

平成17年7月8日に総会が開かれました。長谷川会長の「大商女性会は、平成20年に創立50周年を迎えます。それまでに、会員数300名を目指して、まい進したい」といつもながらの力強いお言葉と「たのんまっせ」「まかしといて」の合言葉で始まりました。本日の会議は会員数233名中、出席者数91名、委任状39名で、本日の議事は成立すると事務局から報告がありました。議案は平成16年度事業、収支報告と、平成17年度事業、収支案で満場一致で成立しました。引続き尾崎名誉会長のお元気なご挨拶と乾杯のご発声で和やかに昼食会が始まりました。昼食後は、大商会頭野村明雄様の「大阪に賑わいを創り出す」という演題で講演がありました。昨今の大坂は、元気が無いといわれています。産業構造の変化、中央集権、物造りが工賃の安い海外へ、等の理由が挙げられますが、大阪に人を集め自治体が協力して経済活性化にアクションを起こす事が大事です。また、大阪市政の現状に対し、閉鎖的体質をこのまま見過ごさず自淨作用をきかせて生き返るよう、我々が見張っていくことが大切です。最後にご自身の企業経営者としてのお考えをお話いただき、「経営者は、上からものを見るのではなく、地を這う虫の目で見る」等大変勉強になるお話を伺いました。



第37回全国商工会議所女性会連合会名古屋総会に参加して

(株)アシスト代表取締役 上西美智子

平成17年9月2日、第37回全国商工会議所女性会連合会名古屋総会がウェスティンナゴヤキャッスルホテルで全国各地1050名の参加をもって盛大に開催されました。

総会の中ほど第4回女性家大賞の授賞式があり、大賞には静岡女性会推薦の(有)北極しろくま堂 代表取締役園田正世さまが最優秀賞を授与されました。平成12年の創業で、伝統的なおんぶひもを自らの育児経験から改善し、独自事業モデルに進化されたことが評価されました。又、全商女性連表彰規約第2条による特別功労者14名の表彰式があり、長年にわたり女性会の発展に寄与されたとして、冒頭に我が尾崎名誉会長が齋藤全商女性連会長より表彰されました。大きな拍手のなか、尾崎名誉会長は満面の笑みを湛え高々と賞状を頭上に掲げられました。その後、懇親会の席上で改めて名誉会長より力強い御挨拶があり、久々に出席者一同に元気と勇気を頂きました。



平成17年度の主な事業

平成17年

- 6月 3日(金) 近畿女性会連合会近江八幡大会
備考: 近女連事業・大商女性会
7月 8日(金) 大商女性会平成17年度通常総会・講演会
備考: 大商女性会
9月 2日(金) 全国女性会連合会・名古屋総会 備考: 全女連事業
10月 4日(火) 大商女性会臨時総会・経営事例発表会
備考: 大商女性会
10月12日(水) 大阪府女性会連合会 北部ブロック研修会
備考: 府女連事業・大商女性会
11月11日(金)
~12日(土) 大阪府女性会連合会 研修・交流会
備考: 府女連事業・大商女性会

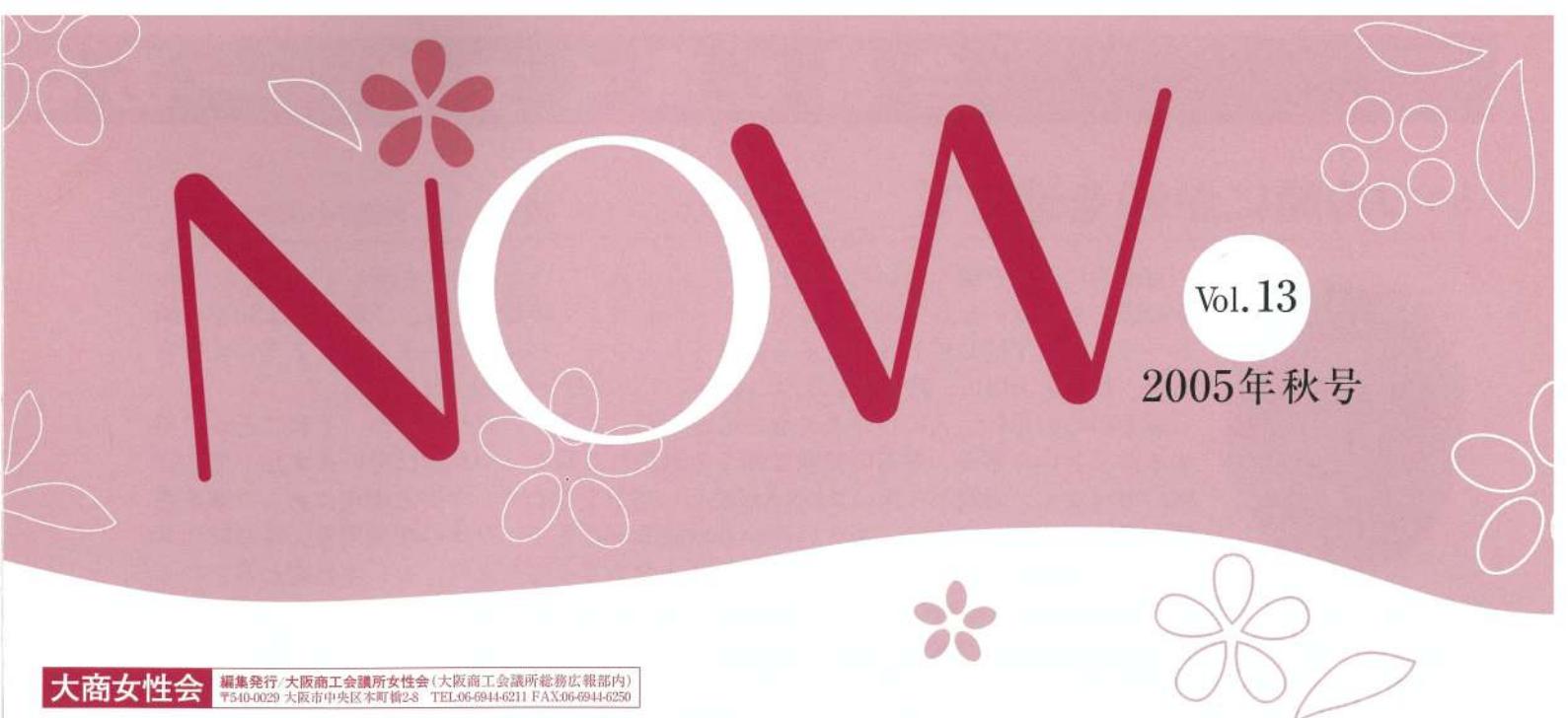
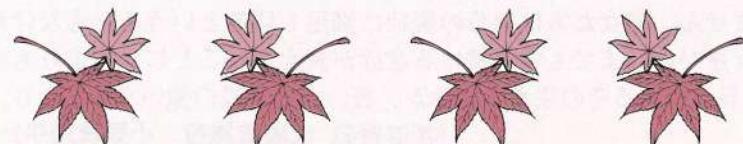
平成18年

- 1月17日(火) 大商女性会平成18年新年会 備考: 大商女性会

◆編◆集◆後◆記◆

大商女性会のメンバーには、胸をときめかせる強い魅力がありました。その輝きは、仕事にも生き方にも表れていました。自分の心の深くから引き出してきた言葉、発想を信じて積極的に進む。そこに新しい仕事の活路が開けていく。若い人たちには思い込みに囚われず、時代と切り結ぶような仕事をするよう教えて頂きました。今後も私達広報委員会は、大商女性会のメンバーが互いの仕事の面白さを引き出し、仕事の芯に当たる本物のスピリットを学び合えるような場づくりに努めていきます。

*掲載している役職は全て開催当時のものです。



Vol. 13

2005年秋号

女性会に育てられた私

小倉屋株 専務取締役 池上淳子



女性経営者の姿とは、“凛とした生き方”それは女性会の伝統です。私にとっての大阪商工会議所女性会との出会いは、昭和45年、池上の嫁として一月足らずに取った電話でした。その電話は当時会長をされていました、辻野ヌイノ様から女性会の会員だった母へのお電話でした。母への伝言を告げられましたので、「分かりました」と申し上げました、「あなた、お嫁さんでしょ。今言った事を復唱しなさい」と申されました。私は嫁ぐ迄も仕事をしていましたがその様な事をはっきり言われたのは、初めてでした。でも、これがどれ程大切な事か、後々、度々、思い知られます。

私は言ったつもり、相手が聞いてくれるものと思っていたものの、それは唯の思い込みという事でしかないのです。辻野様の伝言を間違って伝えては、辻野様にも母にも迷惑がかかり結局は私が一番困る事になります。その時に言いにくくて、良い子になつても誰も成長しないと思います。女性会には後継者育成、そして女だからといって甘いタリティーがあふれています。それが私達大阪商工会議所女性会の伝統であり、その仲間が時を一緒に過ごす事で互いに切磋琢磨し合い成長するのだと思います。

尾崎名誉会長 特別功労賞受賞に寄せて

フェザーリ株 代表取締役会長 長谷川妙子

このたび、尾崎公子名誉会長が全国商工会議所女性会連合会「特別功労賞」を受賞されました。表彰式は、去る9月2日、全国商工会議所女性会連合会・名古屋総会に於て行われ、今回受賞の14名のトップを飾る形で表彰台に臨みました。昨秋には、「旭日双光章」叙勲の栄誉に輝かれるなど、その永年にわたる華々しいご活躍には多言を要しませんが、名誉会長となられた現在も、北海道から沖縄まで各地女性会からの講演依頼は引きも切らず、ご自身が実践してこられた会員拡充運動や女性会のあるべき姿を伝えるべく、持ち前の明るい笑顔と卓越した話術を駆使して全国を奔走しておられます。まさに、80歳超えた方とは到底思えないバイタリティであり、凛とした姿勢は50代、明るく大きな声は40代、気持ちはただいま青春謳歌中、といったところが衆目の一致するところではないでしょうか。大阪は年々会員数を増やしてきておりますが、これも、名誉会長直々の薰陶を受けてみたい、という方が多く存在していることも大きな要因です。尾崎名誉会長は、まさに女性会のシンボル的な存在であると同時に、私達の大きな指標でもあります。お会いするたびにいたたく新しい勇気と叡智は、会員の面々にとって誠にかけがえの無いものになっています。今回の受賞を新たなエネルギーとして、今後ますますご活躍の輪を広げられることを祈ってやみません。



今最も輝く女性 ーあなたの元気いただきますー

いつの間にか90を過ぎて

ロックペイント(株) 取締役 辻 恵美子(1969年入会)



意識的に長寿を望んでいた訳でもなく、ふと気がついたら90才を越していました。60才の頃、お手伝いとして来てくれた人が最近よく訪ねてくれ、「奥さんは60才の頃と一寸も変わらず同じ忙しさの生活を続けておられる」と驚いていました。そういえば今も分、秒、を大切に、時を惜しみつつ暮らしている毎日かなと思います。

誰もの心の中に、人にいいたくない心労が常にあります。時に起るか、それにどう対処するか、という事が、長寿の秘訣は何?と聞かれる答の一つとは思いますが、他に特別の事はなく、両親から頂いたDNAが難しい病気を拾わず、幸せな環境にあった事を感謝一杯に暮らしています。小さい時から本読みが好きで、身体の成長期の大変な時にスポーツには無関心、おかげで、ちびのふとっちょで一生を送り、もし生れ変わるという

事があるとしたらスポーツも適度にして、スタイリッシュになりたいと夢を見ています。

年をとると暖かい心と心のお付き合いが一番の楽しみではないでしょうか、今でも勉強することは大好きです。91の手習いでドイツ語をラジオで聞いています。覚えるより忘れる方が多いですが楽しいです。来る10月23日、クリルト・マズア夫妻主催の「メンデルスゾーンに出会う夕べ」の準備に目下大童です。皆さんのご参加をお待ちしています。

はじ 創めることを忘れなければ人は老いることはありません

コシノ商事(株) 代表取締役社長 小篠綾子(1988年入会)



女が男を相手に堂々と生きていくというのは、今も昔も大変です。でも私には、この生き方しか出来ませんでした。これが父から私へ伝わり、そして娘たちへとつながるコシノ家の生き方でもあるのだと思います。大正2年にこの世に生をうけ、祖父が「一生糸偏で食べていけるように」と念じてつけてくれた名前が綾子です。その思いは未だに神さんに通じて現役でお商売させて頂いています。ファッションは年齢を不問にすること、着る人の価値観や生き方までも変えるチカラを持っています。76才、シルバー向けブランド「コシノアヤコ」を発表。再び装うことの楽しさを蘇らせ、生きることに自信を取り戻して欲しいと願いを込めました。さあ、目を輝かし、背筋を伸ばして、元気いっぱいおしゃれしましょう。

女の自立も生き方に責任を持ってこそ生まれていくもの。娘たちの人生も私同様波瀾万丈です。ミチコの門出はロンドンまで送っていくはずのヒロコが置引きにあい、無謀にもたった一人旅立ちましたが、「何か大きな飛躍」と身震いした通りミチコは世界にはばたきました。無条件に子供のすることを認めるというのは勇気がありますが、認められた方も責任を持つ覚悟がなければできないことです。互いを信頼すること。その信頼こそが、娘たちの自立を生み出す原動力だったと思います。甘やかしてはダメです。私の「やんちゃくれ」という性分も未だ健在です。まだまだ現役です。死んで灰になるまで私は遊びながら「女性を美しくする」この職に情熱を傾けたいと思います。

哀しみを感謝にかえて

(株)夢創館 取締役会長 中西すゑ(1990年入会)



1916年8月15日生れ89才です。19才で京都から大阪へ一人息子の嫁となりました。昭和11年大東亜戦争に主人が召集されて10年、任地の広島での原爆投下で終戦、大阪の両親の許へ帰りました。昭和44年主人と三男の他界で運命が変りました。住居跡の現西心斎橋日航ホテルの西南角にビルを建て(株)大恵と、文化学院心斎橋アカデミーを設立し、13科目的学院では私も主人亡き後梅田の装道きもの学院で学んだ技術で2科目を担当しました。生徒数も300名を越えました。講師の中に書道では元中宮寺門跡の中川楚苑先生と、現人間国宝の常磐津一巴太夫を迎えるました。私も弟子入りして35年余、常磐津すゑ巴として名取頭です。後輩に12代目市川団十郎こと常磐津巴奈津太夫がおられます。

この間昭和61年に長男、63年次男と3人の息子に先立たれました。趣味のお陰で随分心を慰やされました。89才の人生で得たもの、失ったものの比率を考えると、私は失くした哀しみに勝る喜びは無いと思っております。しかし、本年の大商女性会の新年会の会場前で失神し、会員の松本智津子様、革嶋祐理子様の適切なご配慮で命拾い致しました。今は御影山手の眺望の素晴らしい娘宅で全てに感謝あるのみの老後の生活に入りましたが、まだまだ夢はいっぱいあります。

創業70周年を迎えて

(株)田村治照堂 代表取締役社長 田村栄子(1973年入会)



田村治照堂は、父栄治が創業して今年で70周年になります。10年前に社史を上梓したのがついこの間のように思われるが、光陰矢の如しです。

「ハツモール」という育毛剤を拡販する為に、私は日本全国の薬問屋と薬屋を駆けまわりました。問屋のセールスのバイクに乗って一軒一軒商品説明をしたり、会場で「毛髪科学とハツモール」の説明会を3時間ぶっ続けでしゃべったり、毎日昼夜兼行で走り続けて20年、薬業界と美容業界に「ハツモール」ブランドが拡販されるようになったのは、取引の方々と手足となってくれた優秀な社員のお蔭、と感謝しています。「毛髪一筋」によりよき商品を開発するべく育毛剤のノーベル賞を目指したいと思います。創業70周年の記念に趣味として夫婦で続けてきました俳句集をまとめたいと思っています。

下手の横好きで頭の運動と思って続けてまいりましたが、日本全国を歩いた拡販時代の足跡が俳句に残っていますので自分史になるかと思います。女性会の先輩に指導していただき、最近老化防止のため声を出すようにと常磐津をはじめました。師匠は人間国宝の常磐津一巴太夫先生で、80の手習いにはもったいないと恐縮しています。戦中戦後の動乱を切り抜けてきた私たちは、こんな平和な良き時代を老後に迎えられたのですから「語りべ」となつて子孫に山河を越えてきた体験を伝えたいと思います。

私の社長業27年間を顧みて

白水貿易(株) 取締役会長 中山登美子(1988年入会)



「今、甲子園の阪神ヤクルト戦を観てるんだ。いい場面なので終り迄と思ったが、もう直ぐ看護婦が造影剤を持参するので風呂でラジオを聞いてるんだ。」と夜の9時半頃楽しげに電話をしてきました。昭和53年5月23日でした。私が主人の声を聞いたのは之が最後でした。

それから2時間後、病院の看護婦から御主人の容態がおかしいから直ぐ来院をといわれ、主人は検査入院だから患者と違います。お人違いではといながら犬を連れて500M程先の病院に駆けつけました。室内では既に看護婦さん達が交互に人工呼吸を懸命に施しているのを見て2時間前に電話していた人が何故こんな姿にと動転してしまいました。24日午前0時14分心肺停止、自宅に連れ帰りました。その夜は私唯独りの通夜、まだ暖かい遺体に添寝していましたが少しづつ冷えてゆき夜明け前には氷の様に冷くなり、握ってた手を離すのが難しい程固くなってしまいました。

主人が急逝してから業界の到る所で、もう白水貿易は倒産などと言われ始めました。主人が存命中は私は全く黒子的存在でしたから、社内の總てを把握していても社外の事は全く無知同然でしたから、その年の6月半ばから私の社長としての業務が始まりました。殆ど毎日の様に海外も含め新社長として御挨拶に回らねばならぬ毎日でした。然し主人生前中の海外出張に必ず古参社員を数人お供してもらって商談の勉強をしてもらったお陰で私の無力な部分を助けてもらいました。社長が亡くなれば古参社員が退社する事が多いといわれる中で、私共の会社では番頭格を始めとして皆さん大黒柱を失った私を懸命に支え会社の繁栄に大きく寄与して下さいました。名古屋、東京、札幌、横浜、福岡と支店、営業所の創設は前社長急逝後27年間、社長に教育をうけた社員達が社長を知らない社員達を教育しながら販路の拡大に専心してくれた成果と信じております。

お蔭様で平成13年創業50周年を大阪帝国ホテルで東西の業界の方々、お世話をなった方々と共に祝いする事が出来ました。

創業以来殆ど会社を欠勤した事のない私は、私は会社と再婚したのだから会社と一心同体、創業者の志を重んじて会社の繁栄の為、生涯現役、会社成長の姿を見つめたいと思っております。

インタビューを終えて

「そんなことはできるわけがない」と未知に挑むことをあきらめ、無難な道に流されることが、私たちには何と多いことでしょう。歳だから、女性だから・・・。たとえ小さな「できる」を一つやってみれば、さらに大きな「できる」ことを引き寄せることができます。自己への挑戦を続ける限り、人はどこまでも成長していくのです。新しいことに挑戦することに、年齢の上限などありません。彼女たちは自分の現状に満足し切るということもなければ、かといって奢るということはありません。彼女達がいつまでも学び続ける意欲が衰えないことに、何よりも感謝しています。なぜなら未だに現在進行形でかつ成長しているその生きる実体が、若い人の成長の強いバネとなり、挑戦をかきたてて下さっているからです。

(株)清香苑 代表取締役 小栗真理子